

2015.04.21 秋月 康敏

山友会に入会してからいろんな山へ行った。中でも「もう一度行きたくなる山、心に残る山」を提供してくれるのが樋口企画だ。高野山：町石道九度山コース、金剛山：妙見谷コース、六甲山：荒地山コース、高尾・再度山コース等が印象に残っている。同じ山でも何か、どこか一味違うんだな。

今回向山の企画が出た、これは絶対行こう！と思った。そして・・・、やはり正解だった！

二の山から五の山と登ったり下ったりで、縦走標高差 700～800mはあったと思う。

向山急騰：午前 9 時 JR 石生駅を降り立った、ここから約 10km 程離れた所が私の子供時代育った場所だ。懐かしい！でも今は無人駅になっている、少し寂しい気持ちが出た。向山は全く知らなかった。駅から少し歩くと「日本一低い分水嶺」があり、そこを進んで行くと登山口がある。標識が幾つもあるので道には迷わない。登山口には「向山連山は全て私有地です、所有者のご理解で登山道が出来ています・・・」と記してあった。ほ～！すごい人がいるもんだ・・・と思いながら歩き始めたが、何と！ケッコウきつい！急登が続く！先頭に樋口、二番手に上田となったので「強い人二人が前で歩くと大変だ！先頭は山口さんに頼むわ、ゆっくり歩いて！」と頼んだ。順番は変わったがスピードは変わらない、早い・・・、でも文句を云わずに進んだ、山口さんは歳を忘れてハイスピードだ。

上田奥さんと少しブツブツ言いながら進んだ。確か登りは心臓がエライと言ってたはずなんだが・・・全く関係なく平気で歩いている・・・

ひかげつつじ：途中で 3 人連れの女性と会った「何処から来たの？」「大阪から、ひかげつつじを訪ねて」という。「少し遅いかもしれないよ」と樋口さん。二の山を過ぎて三の山辺りからひかげつつじがシンドそうに咲いている。「ま～これで満足せなあかん・・・」と思いながら、続く急騰を進んだ。途中には滝山古墳の標識、三の山の標識には「谷中分水界起点」と記してある。ここの一滴が流れて右へ行くと日本海、左へ行くと太平洋に分かれる日本一低い分水嶺に流れているのだ。過ぎるとひかげつつじの生き生きした花が咲いている！



トンネルになっている！少し遅いとはいうものの、これだけ咲いていれば満足、松の台展望台で下界・ひかげつつじ見ながらゆっくり楽しんだ。

各展望：岩座展望所、松の台展望所など数箇所、展望のよい場所で下界を見て休憩。田植えが終わった時に見るのも絶景だな！と思った。田んぼがきれに見事に長方形に整地されており、ボツボツ田植えが近い、水を張りかけている。「分水界雲海の径」と標識が出ていた。ここら辺りは丹波霧で有名だ。故郷にこんないい山があるとは知らなかった！メンバーの方ありがと。又行きましょう。

